

# 通販新聞

## IPアドレスの脅威度を測定

ジンテック

システム開発のジンテック(本社・東京都千代田区、柳秀樹社長)は、インターネット不正検知のポートサイド(本社・東京都千代田区、今西謙太郎社長)と共同で、インターネ

ット上での識別番号「IPアドレス」の脅威度を測定するサービスを開始し、11月15日に提供を開始する。価格は1万件処理までは月額10万円、超過分は従量課金。すでにネット販売企業2社へのテスト導入が決まっており、今年度中には5社への導入を目標とする。

サービス名は「IPアドレス鑑定団ASPサービス」。通販サイトでの無料サンプルやキャッシュバックのキャンペーンを実施する際に多発する、転売や金銭の取得を防止することが可能となる。

記載される住所とアクセス元のIPアドレスが存在する住所との整合を確認することで、不正な申し込みを防ぐ。また、日本以外のサーバーを経由して不正な申し込みを行うケースも多いため、アクセス元のIPアドレスの国別脅威度を参考に、フィルタリングをかけることもできる。